



第47回 大会 第27期前半期・特別報告

付加価値の『WIN-WIN最適循環運動』について



2018年9月6日
けんしん郡山文化センター

付加価値の『WIN-WIN最適循環運動』の目指す姿

自動車産業の競争力を、企業規模の大小に関わらず職場段階から高め、付加価値を産業のバリューチェーンに循環させる『最適循環運動』を2016年1月にキックオフ

自動車総連 2016年総合生活改善の取り組み “付加価値”の **WIN-WIN 最適循環運動!** 

—自動車産業全体の底上げをめざして—

現状	国内市場の縮小 国内生産の減少	グループを越えた取引拡大 グローバル競争の激化	デフレ脱却に向けた正念場 トリクルダウンの限界
-----------	--------------------	----------------------------	----------------------------

課題	企業収益のバラつき 二極化 <small>(企業規模の大小、業種の違い、海外展開できる・できない)</small>	労働条件の格差拡大	人材不足 <small>(業種による深刻さの違い、働く魅力の充実)</small>
-----------	---	-----------	--

裾野の広い自動車産業の基盤を支えている中堅・中小企業の底上げがなされてこそ、
真の意味で経済や産業の持続的な発展が可能となる!
そのためには、「労働条件の改善」と「現場力の底上げ」の両面からの取り組みが必要

自動車産業の競争力を、企業規模の大小に関わらず職場段階から高め、
付加価値を産業のバリューチェーンに循環させる『最適循環運動』に取り組む!

“付加価値”の **WIN-WIN 最適循環運動** の目指す姿 

「最適循環運動」とは

活動のポイント(3本柱)
 ①付加価値の最大化
 →各企業が各自出す付加価値を最大化する努力を重ねる
 ②付加価値の適正評価
 →取引相手が生み出した付加価値を適正に評価することを大切にする
 ③協力強化による健全な改善
 →企業間・業種間での協力を強化し、健全な改善を推し進めていく

左記の3本柱を切り口にして、付加価値を自動車産業のバリューチェーンに循環させる運動
(運動の期間:2016-2018年の3年間)



現場力の底上げ
自らの能力の積み重ねによる生産性や品質・サービスの向上・接客態度、新たなチャレンジ・挑戦に取り組む仲間への支援など

自動車産業全体の総合力向上と、安定した質の高い雇用の創出に向けて、前に進もう!

2016年1月14日発行 自動車総連 東京都港区高輪4-8-21 Viewwell Square(ビューウェルスクエア)

3年間の集中した活動としてスタートし、本年が活動の最終年となる

		テーマ		
大項目		中項目		分類
A	産業内の適正取引の推進	1	下請法・自動車産業適正取引ガイドラインの周知徹底	①
		2	適正運賃の種々に向けた取り組み	②
B	生産性・付加価値の向上	1	「スマートものづくり応援隊」の活用	①
		2	「ベストプラクティス(好事例)」の集約・展開	①
		3	カレンダーの統一に向けた検討	②
		4	商習慣の改善(過度な値引き販売・自社登録などの解消)	②
		5	月間・年間における繁閑差の解消	②
		6	メーカー系列内外の協力強化による人的相互支援の実施	②
		7	車輛輸送に関する制度課題への取り組み推進	②
C	人材確保に向けた産業の魅力向上	1	ものづくり産業の魅力向上	②
		2	販売会社の魅力向上	②
		3	ドライバーの魅力向上	②
D	地域における協力強化	1	地域におけるモータープールの共有化・共同輸送による効率化	②
		2	地域における育児・介護と仕事の両立支援と地域貢献	①

取り組むべきテーマとして14テーマを設定

2016年1月

2017年1月

2018年1月

第47回大会

1年目

2年目

3年目

<分類②>
具体的取り組み

<分類①>
具体的取り組み

取り組みテーマ設定

経営者との意見交換

活動開始以降の3年間において、着実な前進を図ってきた

		テーマ		
大項目		中項目		分類
A	産業内の適正取引の推進	1	下請法・自動車産業適正取引ガイドラインの周知徹底	①
		2	適正運賃の種々に向けた取り組み	②
B	生産性・付加価値の向上	1	「スマートものづくり応援隊」の活用	①
		2	「ベストプラクティス(好事例)」の集約・展開	①
		3	カレンダーの統一に向けた検討	②
		4	商習慣の改善(過度な値引き販売・自社登録などの解消)	②
		5	月間・年間における繁閑差の解消	②
		6	メーカー系列内外の協力強化による人的相互支援の実施	②
		7	車輛輸送に関する制度課題への取り組み推進	②
C	人材確保に向けた産業の魅力向上	1	ものづくり産業の魅力向上	②
		2	販売会社の魅力向上	②
		3	ドライバーの魅力向上	②
D	地域における協力強化	1	地域におけるモータープールの共有化・共同輸送による効率化	②
		2	地域における育児・介護と仕事の両立支援と地域貢献	①

下請法・自動車産業適正取引ガイドラインの周知徹底に向け労使意見交換を実施

【自工会コメント】

- 自主行動計画の実践により、日本の産業全体の競争力強化を目指す
- 今後も労使でフォローアップしていきたい
- 部工会とは今後も連携して適正取引、付加価値向上に努めていく



【部工会コメント】

- 支払条件の改善については、大企業間での手形取引が改善されないことが要因
- 自工会と連携して実施してきた下請法、自動車ガイドラインセミナーも継続して開催する
- 会員企業への周知・要請や支援活動を継続するとともに、自工会等関係団体へも改善を要請していきたい



適正取引の浸透に向け、継続して労使で取り組んでいくことを確認

「自動車産業適正取引ガイドライン」「付加価値向上に向けた行政支援策・ベストプラクティス」などの国の施策の周知や労連の取り組みの横展開を図るセミナーを開催

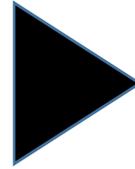
テーマ	講演者
付加価値の『WIN-WIN最適循環運動』 自動車総連の取り組みについて	自動車総連
「自動車産業適正取引ガイドライン」 について	経済産業省
下請等中小企業の取引条件改善への 取り組みについて	中小企業庁
平成30年度における中小企業支援策	中小企業庁
自動車整備士不足への対応	国土交通省
トラック輸送部門における取り組みに ついて	国土交通省
労連の取り組み紹介	全トヨタ労連 三菱自動車ふそう労連



参加者から、講演内容を持ち帰り自組織に展開したいとの声が多くあがった

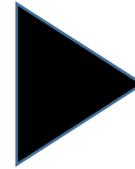
加盟組織に対し、行政施策活用を呼びかけ

○加盟単組への「スマートものづくり応援隊」活用呼びかけ



中堅・中小企業の課題解決

○企業OBへのものづくり改善インストラクター登録の呼びかけ



地域企業の生産性向上

2018年4月20日
第27期(前) #4 中央最適循環委員会
自動車総連 業種政策局

「スマートものづくり応援隊」の活用及び
「ものづくり改善インストラクタースクール」の受講について

付加価値の『WIN-WIN 最適循環運動』の取り組み項目である B-1「スマートものづくり応援隊」の活用について、下記の通り提案いたします。

記

1. 自動車総連取り組みテーマ及び「スマートものづくり応援隊」について

項目	取り組みテーマ	ゴールイメージ
B	生産性・付加価値	1 「スマートものづくり応援
		行政施策に対して、全国各地域におけるメーカー系列内外の人材登録を推進するとともに、行政施

特設ホームページを作成し、行政施策の紹介や好事例の共有化を図る

- 中小企業向けの施策や、各労連から集約した好事例、自動車総連本部にて取材した事例などを掲載
- 好事例を共有し、水平展開を図ることで各企業の生産性向上に繋げる



今後も引き続き好事例を集約し、共有を図っていく

【地方型保育所の事例】

GNホールディングス(株)による企業主導型保育事業

施設名	まいにちほいくえん
設立の背景	土・日・祝が勤務日である従業員の仕事と育児の両立を支援し、働きやすさの向上を図る
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育所ではあるものの、運営の基準は認可と同一 ・自販連を通じ利用契約を結び、他社販売店の従業員も利用 ・企業努力により競争力のある価格設定を実現 ・従業員が預けたいときに預けられるという安心感 ・運営は実績がある運営会社に委託し、質の高い保育を提供



全天候型ドームにより、雨にぬれず送り迎えや園庭遊びが可能



「自動車を売る会社」を意識し、園庭にレース場を設置

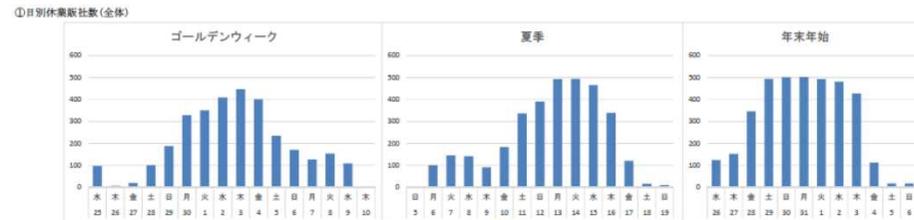
		テーマ		
大項目		中項目		分類
A	産業内の適正取引の推進	1	下請法・自動車産業適正取引ガイドラインの周知徹底	①
		2	適正運賃の種々に向けた取り組み	②
B	生産性・付加価値の向上	1	「スマートものづくり応援隊」の活用	①
		2	「ベストプラクティス(好事例)」の集約・展開	①
		3	カレンダーの統一に向けた検討	②
		4	商習慣の改善(過度な値引き販売・自社登録などの解消)	②
		5	月間・年間における繁閑差の解消	②
		6	メーカー系列内外の協力強化による人的相互支援の実施	②
		7	車輛輸送に関する制度課題への取り組み推進	②
C	人材確保に向けた産業の魅力向上	1	ものづくり産業の魅力向上	②
		2	販売会社の魅力向上	②
		3	ドライバーの魅力向上	②
D	地域における協力強化	1	地域におけるモータープールの共有化・共同輸送による効率化	②
		2	地域における育児・介護と仕事の両立支援と地域貢献	①

		テーマ		
大項目		中項目		分類
A	産業内の適正取引の推進	1	下請法・自動車産業適正取引ガイドラインの周知徹底	①
		2	適正運賃の種々に向けた取り組み	②
B	生産性・付加価値の向上	1	「スマートものづくり応援隊」の活用	①
		2	「ベストプラクティス(好事例)」の集約・展開	①
		3	カレンダーの統一に向けた検討	②
		4	商習慣の改善(過度な値引き販売・自社登録などの解消)	②
		5	月間・年間における繁閑差の解消	②
		6	メーカー系列内外の協力強化による人的相互支援の実施	②
		7	車輛輸送に関する制度課題への取り組み推進	②
C	人材確保に向けた産業の魅力向上	1	ものづくり産業の魅力向上	②
		2	販売会社の魅力向上	②
		3	ドライバーの魅力向上	②
D	地域における協力強化	1	地域におけるモータープールの共有化・共同輸送による効率化	②
		2	地域における育児・介護と仕事の両立支援と地域貢献	①

三大連休について、コア日や連休日数確保の取り組みを進めるとともに、可能な限り産業内で合わせていく

- 
- 販売に働く仲間の魅力向上の一助とし、人材確保に繋げる
 - 生産から輸送、販売まで効率の良い体制を構築することで、付加価値の創出と最適循環に繋げる
 - 産業全体で過当競争を是正し、秩序ある競争環境を確立する

【具体的取り組み】
自動車総連加盟単組における
長期連休実態を調査



②日別休業社数（全国および地域ごと）

2018年度 実勢把握	ゴールデンウィーク										夏季										年末・年始																									
	4月					5月					8月					12月					1月																									
全国	97	7	25	101	189	329	553	639	447	601	234	172	127	103	2	0	2	101	146	142	92	107	336	390	493	494	605	329	120	16	11	36	124	152	346	493	501	492	492	481	427	112	18	17		
北海道	8	1	0	2	9	7	32	26	28	32	38	17	35	23	3	0	0	7	15	9	16	70	32	34	34	30	17	2	0	0	0	0	10	18	28	31	33	33	33	29	19	1	2			
東北	17	15	1	9	21	33	45	57	69	74	66	43	23	19	0	0	0	18	31	19	14	24	47	49	65	72	71	56	13	3	3	9	22	41	55	71	73	73	70	61	52	9	3	3		
関東・甲信越	77	7	1	3	17	37	56	53	38	25	43	29	24	17	34	9	0	0	1	14	33	14	14	23	49	49	75	75	66	60	49	2	3	3	9	12	49	72	73	72	72	63	16	3	3	
中部・近畿	112	18	2	8	27	69	81	70	78	91	85	51	41	43	21	24	0	0	1	36	33	31	16	45	70	68	104	103	99	78	74	6	3	2	19	31	73	107	107	109	105	105	91	21	5	5
四国	70	17	1	1	7	14	24	39	53	51	35	20	15	8	23	19	2	0	0	6	20	23	12	20	35	43	64	64	59	54	14	1	3	16	18	27	53	67	67	67	66	61	17	3	1	
中国	70	20	2	2	10	26	34	70	63	70	66	40	36	10	19	20	0	0	0	4	26	19	70	73	63	73	69	41	9	2	1	0	19	19	66	66	70	70	67	66	59	20	2	2		
九州・沖縄	81	19	0	1	10	21	47	50	47	74	74	59	55	20	20	21	0	0	0	20	22	22	8	18	49	52	72	73	69	53	20	2	0	1	26	23	49	77	78	78	78	70	70	15	1	1

③2019年度カレンダーの検討素材

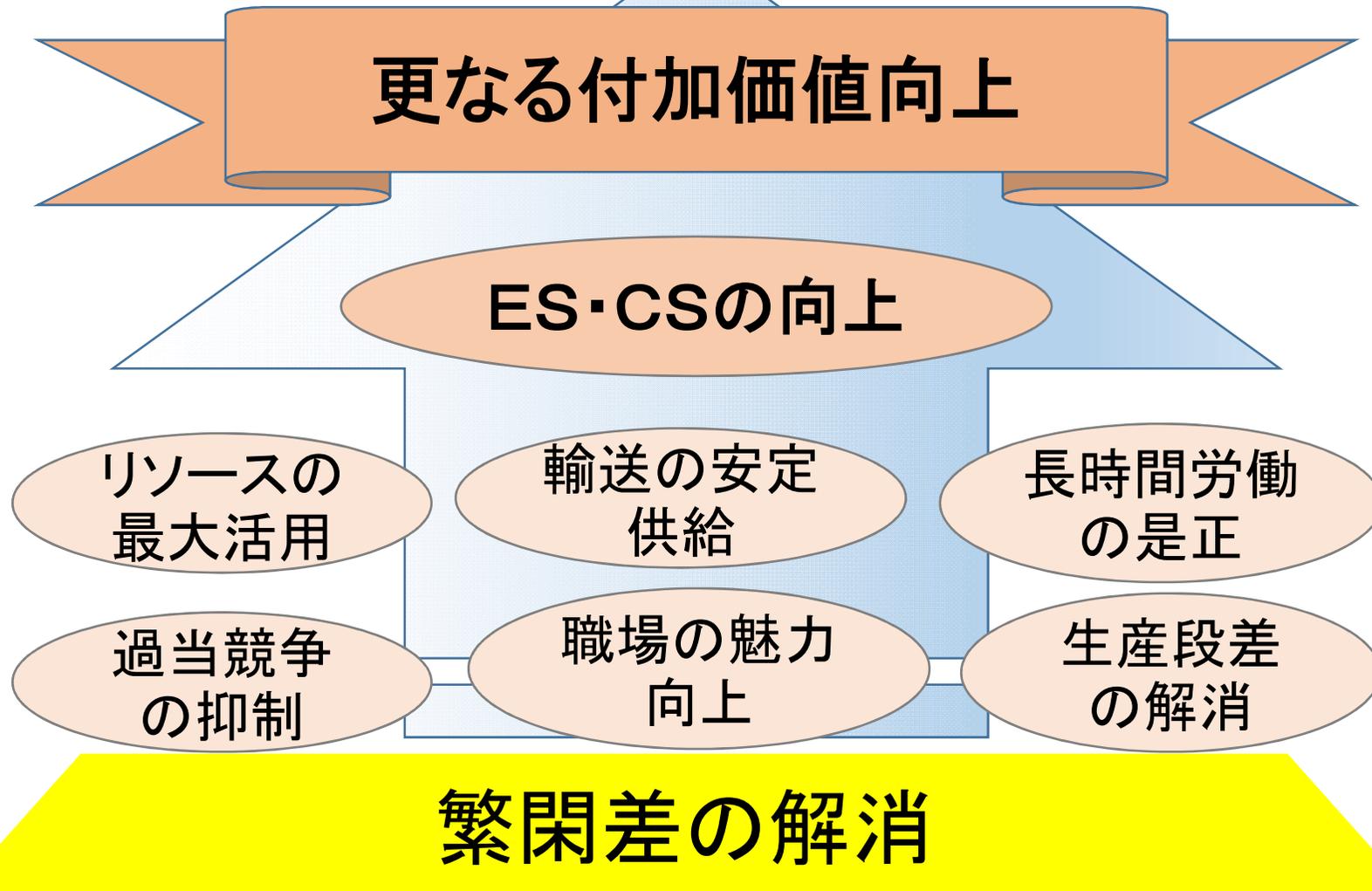
2019年度 カレンダー	ゴールデンウィーク										夏季										年末・年始																								
	4月					5月					8月					12月					1月																								
総連モデル カレンダー	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日

GWについては分散傾向だが、
夏季及び年末年始は多くの販
社が休業

自動車総連販売部門として、三大連休のコア日設定や連休日数確保に向けた取り組みを推進

- 自動車総連モデルカレンダーを基本とする
- 販売部門としての重点取り組み休業日(コア日)を設定する
- 各労連が主体的に取り組みゾーンを設定して労働諸条件改善及びカレンダー協議の方針に明記して取り組みを推進する

繁閑差を解消することで、サービス職及びドライバー職における健全で秩序ある働き方を実現し、当該業種の生産性・魅力向上に繋げる



繁閑差の解消により生産・輸送・販売の生産性向上及び働き方改善を図る

各種労使会議における長時間労働や繁閑差に関する意見交換内容

労使会議	日程	経営者側の主な発言内容
自販連	5/17	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働の是正や労働生産性の向上をはじめとした働き方改革に関して企業内で議論を進め、具体的な対策を講じることによって、従業員の健康にも配慮した柔軟で働きやすい環境を整える必要がある ・自動車税の月割課税を廃止や、登録から納車への売り上げカウント変更など、繁閑差解消に寄与しうる様々な方策を打ち出していきたい
陸送協会	4/18	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードは平準化。業務量にばらつきや段差があるので、余計な負荷がかかったり、突発的な対応が必要となる。産業内連携を強固にしていきながら、抜本的な構造改革を進め、平準化を実現していきたい
大型4社	6/6	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間残業の改善は最重要課題として捉えており、経営レベルで取り組んでいる ・繁忙期の平準化はもちろんのこと、月や週単位でも業務を平準化することが必要

課題感を共有し、労使で取り組みを進めることを確認

【労連・単組の取り組み】

繁閑差の実態を会社側と共有し、意見交換を実施

◆繁閑差の要因として想定されるものについて議論



繁閑差を踏まえた事業運営の可能性を検討

業界全体の生産性・付加価値の向上に向け取り組んでいく

【自動車総連車輛輸送に関わる政策制度要求項目】

適正運賃の收受
に向けた対応

キャリアカーからの
オーバーハング状態
認可に向けた対応

新車回送（自走）時の
高速道路走行時における
割引料金の適用

時間外労働時間の
上限規制に向けた対応

4項目を自動車総連の政策制度要求として掲げる

【自動車総連の要望】

キャリアカーからのオーバーハング状態を認可する

積載効率の向上に繋がる



ドライバーの長時間労働の是正
道路への負担軽減
CO2の排出削減

関係省庁への要請活動を実施

一般および高速道路における大型車駐車場の確保に向けた取り組み



指定の駐車エリアに駐車しよう!

よりよい交通社会をみんなで作ろう。
ルールを守って、スマート駐車!

 自動車総連

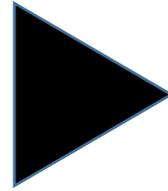


JAFホームページ
SA・PAを便利に利用する
方法は?

組合員としてできる駐車マナーやルールの徹底を図り、大型車駐車場の確保する活動を、組織運動として実施

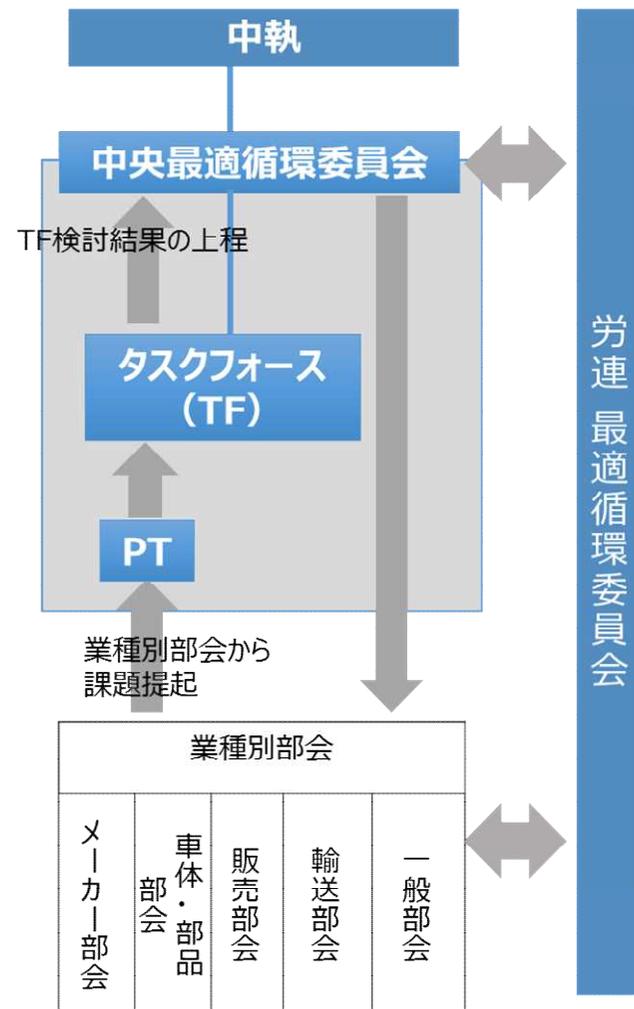
大型車駐車場の確保を目的に、自動車総連独自の取り組みを展開

3年経過後
次のステージに移行

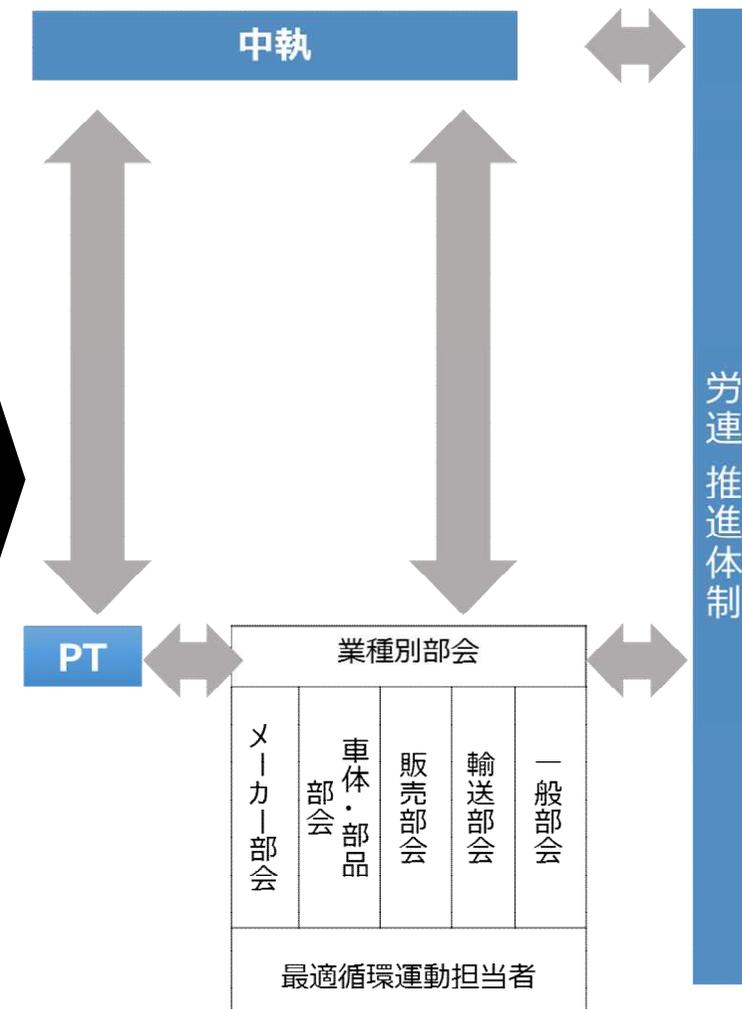


推進体制を変更し、
運動を継続する

<現在の体制>



<2019年1月以降>





自動車総連

